

令和2年度

事務事業評価表(令和元年度 の実績評価)

記入年月日
令和2年 4月 1日

事務事業名: 観光客動態調査事務. 事業区分: 新規/継続 (単独/補助). 事業期間: 単年度繰返し (年度~). 所属課: 商工観光課. 担当者名: 商工観光グループ. 予算科目: 01-07-01-04-01-00 (観光事業). 法令根拠: [Do] 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要. ①事務事業の概要 (事務事業の全体像): 対象となる観光地 (雨引観音・酒寄みかん園)、および行祭事・イベント (真壁のひなまつり、SAKURAフェスティバル等) において観光客の動態 (入込客数) を調査する。 (県からの調査委託事業). ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順: 調査事務の受託, 調査員への調査依頼、賃金の支払, 調査結果の取りまとめ、県観光物産課への報告 (年4回 (5月、8月、11月、2月)).

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移. ①手段 (担当者の活動内容): 動態調査日数 (指標: 8.00, 8.00, 8.00, 8.00, 8.00). ②対象 (誰、何を対象にしているのか): 調査観光地への来訪者 (指標: 43,154.00, 43,154.00, 43,154.00, 43,154.00, 43,154.00). ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか): 桜川市への観光客数が把握できる (指標: 141,000.00, 175,000.00, 175,000.00, 175,000.00, 175,000.00).

(3) 投入量 (事業費) の推移. 30年度 (実績): 0. 01年度 (実績): 0. 02年度 (計画): 0. 期間限定総投入量: 0.

01年度事業費 実績 (千円): 08 報償費 58. 02年度事業費 予算 (千円): 08 報償費 59. 合計: 58 / 59.

事務事業名	観光客動態調査事務	事務事業No.	40301000553	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 観光施策に重要な基礎的資料を得るために開始された。 県の予算の縮小により調査箇所が減少された。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 実施主体である県から、本調査は観光動態を把握するため全国統一の基準で行われる重要な調査であると言われている。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	① 政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 市内を訪れる観光客数を把握する調査であり、市の観光動態を示す重要な基礎資料である。
	② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市の観光動態を把握するため、市が実施する必要がある。
有効性	③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 現状の調査によって市の観光客数を把握できている。
	④ 廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市内を訪れる観光客数を把握する事業が他にないので廃止はできない。
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業がない。
効率性	⑥ 事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 県の委託事業であり、調査日数、委託費が決められているので削減余地はない。
公平性	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内の観光客数を把握するための調査であり、受益者に負担を求めている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	茨城県からの受託事務であり円滑に調査ができています。																				
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → (複数回答可) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上維持		○	X	低下	X	X	X
		コスト																				
		削減	維持	増加																		
成果	向上維持		○	X																		
	低下	X	X	X																		
		(6) 事務事業優先度評価結果																				
		成果優先度評価結果	◎																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>